

2020・6・24

布礼别・布部林道オオイチ他



急にいい天気になったので午前中に近くの林道に行ってみる。そろそろオオイチが飛んでいるだろう。



いつもの林道の、いつもの水たまりにオオイチ君は集まっていた。いつも道内外の採集者と必ず出会うのだが、今回はコロナ自粛のためか貸切状態でいろいろ撮影できそうだ。



まずは、湿ったところで吸水。生まれたばかりのピカピカ個体でした。





次は獣糞に集まる♂3頭。　ずいぶん毛が多い糞だ。
これは動画でも撮影。コチャの吸い戻しも一緒に撮影で
きた。



これも獣糞に集まる4頭。例によってギョロメで接近して撮ってみる。全然気にしない。そのうち1頭飛び出してなんと私の耳で吸水し始める。ギョロメで自撮りしてみる。ちょっときもい。



これも何かに集まっている。近くに寄ってみると鳥(キジバトの幼鳥)の死体だ。これはちょっとレアかな？
きれいな個体なので富良野に来る虫研後輩のお土産に持たせるべく捕獲。
(ネットを被せても動かない。)



オオイチは昨年より多い。採集者もないし、♀の産卵が期待できるな、といつも見ているヤマナラシを眺めると、なんと蛹のカラーがぶら下がっている！なにー。この木は去年から若齢の巣など、ここに来た時にはいつも見ている場所なのに。今年の春にも来ているなあ、周りに食痕がないので少し上の方からワンダリングでこんな見やすい場所に降りてきたのでしょうか。もう少し早い時期に来ていれば・・・、残念。



その他の蝶はミスジが多いが、あとはコヒョウモン、ヒメウスバ、ヒメウラがちらちら、いつも集団吸水が見られるピエリスは端境期か少ない。エゾシロが少し集まっていた。タテハはサカハチの他コヒオドシの新鮮なのがいたくらい(再早タイ記録:富良野)。いろいろめぼしい幼虫を探したがNull. なんか変な感じ。布部の方に移動する。



この吸水も動画でいい感じに撮れた。



メインの目的はオナガアゲハの卵なのだが、まだついていない。コツバメ・スジチャの幼虫もない。ササの食い幼虫も今はいないか。と帰り道でコンロンソウの茎にツマキ幼虫発見。野外幼虫はあまり見えないのでちょっとラッキーでした。

首を上げた独特のポーズをとっている。



別の株でもツマキ発見。ついでにピエリスも発見。同定のためお持ち帰り。いずれもコンロンソウ。ハルザキヤマナラシにはどちらもついていない。



おわり